

- +++++
- ◇ サイエンスアゴラ2013におけるシンポジウムの開催について（一部訂正）
 - ◇ 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会「地球市民としてのあなたへ～フクシマの復興に向けたアカデミアの挑戦～」の開催について（ご案内）
 - ◇ 日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けて」の開催について（ご案内）
- +++++

■

サイエンスアゴラ2013におけるシンポジウムの開催について（一部訂正）
----- ■

2013/10/25（金）付日本学術会議ニュース・メールNo.421でお知らせした、サイエンスアゴラ2013の記事の本文中

【若手研究者たちと考える、君達の、そして日本の未来】シンポジウム開催日時が「平成25年11月9日（土） 13:00～14:00」となっておりましたが、正しくは「平成25年11月10日（日） 13:00～14:00」ですので、訂正いたします。

なお、ホームページにも講演や話題提供等のスケジュールを掲載しておりますので御覧ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>

◇問い合わせ先◇

審議第二 佐藤

電話 03-3403-1056 FAX 03-3403-1640

メールアドレス（業務用アドレス）s253@scj.go.jp

■

日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会「地球市民としてのあなたへ～フクシマの復興に向けたアカデミアの挑戦～」の開催について（ご案内）
----- ■

- ◆日 時：平成25年11月29日（金）14:00～17:00（13:30開場）
- ◆場 所：長崎大学医学部良順会館ボードインホール
（長崎市坂本1-12-4）※駐車場はありません
- ◆主 催：日本学術会議九州・沖縄地区会議、長崎大学、
長崎大学原爆後障害医療研究所
- ◆後 援：福島県、長崎県、長崎市、長崎県医師会、長崎市医師会、
（公財）日本学術協力財団

◆次 第：

14:00～14:10 開会挨拶

小林 良彰（日本学術会議副会長、慶應義塾大学法学部教授）
片峰 茂（長崎大学長）

14 : 10～16 : 55 講 演

「緊急被ばく医療の国際的取り組みと国際原子力機関の
緊急時対応援助ネットワーク」
Eduardo Daniel Herrera Reyes
(IAEA・Incident and Emergency Centre)

「原発事故後の現況と健康への取り組み」
大津留 晶（福島県立医科大学放射線健康管理学講座教授）

「放射線健康リスク科学のこれから：
長崎、チェルノブイリから福島へ」
高村 昇（長崎大学原爆後障害医療研究所社会医学部門教授）

「福島の歴史的予見の視点から：日本と自然災害」
Gregory K. Clancey（シンガポール大学准教授）

16 : 55～17 : 00 閉会挨拶

箱田 裕司（日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事）
永山 雄二（長崎大学原爆後障害医療研究所長）

■ 参加費無料、どなたでも参加いただけます。参加事前申込をお願いします。

■ 詳細はこちら

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/177-s-1129.pdf>

■ ご来場にあたっては公共交通機関をご利用願います。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/sakamoto1/index.html>

■ 参加申込方法

11月29日講演会希望と1.名前、2.連絡先（電話又はメール）を明記の上、
下記問合せ先まで、メール又は電話にてお申し込みください。

■ お問合せ先：長崎大学研究国際部研究企画課

Tel : 095-819-2039 E-mail : gakusai@ml.nagasaki-u.ac.jp

■ 日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの水産業および関連沿岸
社会・自然環境の復興・再生に向けて」の開催について（ご案内）

- 1 主催：日本学術会議
- 2 開催日時：平成 25 年 11 月 29 日(金) 10：00～17：20
- 3 開催場所：日本学術会議講堂
- 4 趣旨
東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けてどのような方法があるのか、今まで各学会が取り組んできた事例を紹介しながら討議等を行う。

5 次第 (予定)

- 10：00－10：05 開会挨拶 渡部終五（日本学術会議第二部会員、
北里大学海洋生命科学部教授）
- 10：05－10：15 水産・海洋科学研究連絡協議会について
竹内俊郎（日本学術会議連携会員、
東京海洋大学海洋科学系教授）
- 10：15－10：35 第 21 期提言「東日本大震災からの新時代の水産業の復興へ」
の見直しについて
八木信行（日本学術会議特任連携会員、
東京大学大学院 学生命科学研究科教授）

報告（第 1 グループ）

座 長：大竹臣哉（福井県立大学海洋生物資源学部教授、日本水産工学会会長）

- 10：35－11：00 黒倉 壽（東京大学大学院農学生命科学研究科教授、
日本水産学会会員）
「震災後の沿岸漁業の現状と日本水産学会の対応」
- 11：00－11：25 後藤友明（岩手県水産技術センター上席専門研究員、
水産海洋学会会員）
「東日本大震災に関する水産海洋学会の取り組みと今後の課題」
- 11：25－11：50 尾定 誠（東北大学大学院農学研究科教授、
日本水産増殖学会会員）
「東北沿岸の水産増養殖の復興に向けた取り組みとこれから」
- 11：50－12：15 神田穰太（東京海洋大学大学院海洋科学系教授、
日本海洋学会会員）
「福島第一原子力発電所事故に伴う沿岸環境汚染」
- 12：15－13：15 昼食等

報告（第 2 グループ）

座 長：田中次郎（東京海洋大学大学院海洋科学系教授、日本藻類学会会長）

- 13：15－13：40 加戸隆介（北里大学海洋生命科学部教授、
日本付着生物学会会員）
「東日本大震災が潮間帯生物の多様性に与えた影響とその評価」
- 13：40－14：05 大越健嗣（東邦大学理学部教授、日本ベントス学会会員）
「数 100 年おきに繰り返す大津波と地盤沈下
－干潟の生物はどうなったのか？」
- 14：05－14：30 小松輝久（東京大学大気海洋研究所教授、日仏海洋学会会員）

「日仏海洋学会・仏日海洋学会による震災からの
カキ養殖復興に向けた取り組み」

14:30-14:55 良永知義（東京大学大学院農学生命科学研究科教授、
日本魚病学会会員）

「貝類養殖の復興のための疾病侵入防止の取り組みと
今後へ向けた提言」

14:55-15:10 休憩

報告（第3グループ）

座長：末永芳美（東京海洋大学大学院海洋科学系教授、漁業経済学会会員）

15:10-15:35 林紀代美（金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授、
地域漁業学会会員）

「『減災』からみつめる漁業地域—今後の災害に備えるため

に—」

15:35-16:00 有路昌彦（近畿大学農学部教授、国際漁業学会会員）

「水産流通加工業が被災地の漁業復興に果たす役割」

16:00-16:25 松浦啓一（日本学術会議特任連携会員、日本魚類学会会員）

「魚類標本のレスキュー活動から得た教訓と自然史標本の
管理・活用の改善を目指して」

16:25-16:30 休憩

16:30-17:15 総合討論 司会 青木一郎（日本学術会議連携会員、
東京大学名誉教授）

17:15-17:20 閉会挨拶 帰山雅秀（日本学術会議連携会員、
北海道大学国際本部特任教授）

■参加費：無料

■申し込み：不要、当日先着順

■問い合わせ先

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

電話：03-3403-6295／FAX：03-3403-1260